

寿

暮らしの瓦版

2010年01月号

「木造軸組工法の家」の魅力(16)

【長もち木材】屋久島の屋久杉は樹脂



分が多いため腐りにくい性質を持っています。昔、屋久杉は神聖なもので伐採が禁止されてきました。長い年月を重ねて生き続ける木に、また自然に対して畏敬の念を持っていたのです。はじめて伐られたのが、1586年に方広寺を建設した時で、秀吉が命令し、建設材料として伐採されました。それが、およそ420年前。この時の切り株が、数百年朽ちずに残っているのが、ウイロン株と呼ばれるもので、191年にアメリカの植物学者であるウイロンによって調査されたことにより、その名前が付けられました。切り株だけではなく、その時伐られた枝の部分も朽ちずにも残っているといえます。木材は通常、雨露に濡れる所に放置するとすぐに腐ってしまうのですが、ウイロン株のように腐朽菌によって分解されないのは珍しいことです。特に「月に35日雨が降る」といわれる屋久島で腐らなかつたのは驚くべきことです。この伐採で薩摩の中でも農地が少なく貧しかった屋久島の人々の生活が潤うことになりました。この藩政時代に伐つた木は細かく割って、屋根葺き材として納められていたといえます。容易に割れなかつた部分は放置されたままだったといいい、20年以上も放置されていた物もあつたそうです。それらの心材部分は20年以上経ても十分に用材として使用できたため、近代の営林署の収入に寄与したといえます。

木材はその成分や量によって耐久性が異なつてきます。屋久杉ほどではありませんが、樹種によって耐久性を高く保つ材がありま

す。ヒノキ科に属するもので、「木曾の五木」の一つのネズコ、他にアスナロ、イブキ、タ

イワンヒノキなどには、強い抗菌作用を持つトロポロン類が、同じくヒノキ科のインセン

スシダーにはP-メトキシチモールが心材中に含まれていて、腐りにくいと言われています。土台などに使われていて今や希少価値となつているクリヤ、家具や小物などに使われるクルミ、イタヤカエデなどには、腐朽菌の害を抑えたり、虫からの被害を抑えたりする成分のタンニンが含まれています。木が長く生き続けるための潜在能力を、人間は住ま

いの材料にうまく活かしていたのです。

「初夢」



初夢で1年の吉凶を占う風習。初夢の夜は大晦日、元日、正月2日、節分等がありますが、一般には正月2日の夜の夢が初夢とされます。室町時代から、良い夢を見るには、七福神の乗った宝船の絵に「永き世の遠の眠りの皆目覚め波乗り船の音の良きかな」という回文(逆さに呼んでも同じ文)の歌を書いたものを枕の下に入れて眠ると良いとされています。また、悪い夢を見た時は、翌朝、宝船の絵を川に流して縁起直しをします。

生活

季節の言葉 『歌舞伎／歌舞伎座建替』

新年。着物を着た観客で賑わうのが歌舞伎座。都内だけでも歌舞伎座、国立劇場、新橋演舞場、浅草公会堂、そして大阪松竹座等々、全国各地の劇場で歌舞伎がかけられます。特に東京の歌舞伎座は、平成22年4月公演を最後に建て替えられることが決まり、平成21年1月から16カ月にわたって「歌舞伎座さよなら公演」と銘打って、カウ

ントダウン興行が始まっています。その歌舞伎座は明治44年11月に純

日本式の宮殿風の大改築後、大正10年に焼失。さらに、新劇場を建

設途中に関東大震災に遭い、工事が一時中断しましたが、大正13年12

月に現在の建物の原形である奈良朝に桃山様式を併せた大殿堂が

落成しました。その後、昭和20年5月の大空襲により焼失しますが、

昭和26年1月に現在の歌舞伎座が復興。昭和63年には開場百年を迎

え、現在の建物は平成14年に国の登録有形文化財に指定されました。

そして、新しい歌舞伎座は平成23年春の完成を予定しています。

「歌舞伎」という芸名由来は、「傾く(かぶく)」という動詞に

あります。この動詞には、並外れている、常軌を逸しているという

意味があります。安土桃山時代から江戸時代初期にかけて、当時の

流行の最先端を行く奇抜な服装や髪型をし、世間の秩序に反して行

動する人々を「かぶき者」とよびました。歌舞伎の歴史は、出雲の

阿国の「かぶき踊り」にまでさかのぼります。この呼び名は当時を

象徴する最先端の「かぶき者」の扮装を舞台上で真似たことにより、

ここから「かぶき」とよばれるようになったといわれています。歌

舞伎は、この発祥時の精神を受け継ぎ、約40年の歴史の中で、様々

な時代の困難を乗り越えながら、他の芸能やその時々の流行などを

食欲に取り入れ、たくましくまた柔軟に発展し、その結果、歌舞伎

は、演劇・舞踊・音楽の各要素を備えた「総合芸術」として現在に

受け継がれています。歌舞伎の表現の特徴のひとつとして、近代の

演劇のように写実的な方向ではなく、あくまで舞台上で「それらし

く」見えることを追求し、様式的な方向へ発達してきたという点が

挙げられます。役柄や場面の表現の他、衣裳や化粧などの扮装、大

道具や効果音などの要素が、「らしく」見えることを優先して発達

したのです。そしてこれらの表現方法は、同じような役や同じよう

な場面で繰り返し使われるようになり、歌舞伎独特の様式的な表現

へと確立されました。歴史的な経緯から、歌舞伎では全ての役を男

性が演じます。女性役また女性役を演じる俳優を「女方」とい

います。「女方」は、衣裳や化粧などの扮装だけで「女性らしさ」を

表現しているわけではありません。例えば女性が歩く様子を演じる

場合、「女方」は内股で歩きます。また舞台上では、肩甲骨をくっ

と下に落とし女性のなで肩を表現します。これらは男性である「女

方」が、写実的に女性を真似るのではなく、舞台上で「女性らし

く」見えるように工夫してきた演技法なのです。

重要無形文化財指定にされ、世界無形遺産としてユネスコにも登

録されている歌舞伎。年の始まりに日本独特の伝統文化に触れるの

もよいでしょう。



生活

季節の言葉 『平成22年／寅年』

平成22年は寅年ですが「干支は寅」という表現は

正しくありません。「干支」とは、正確には「十干」と「十二支

の組み合わせをいい、平成22年の場合、十干は「庚」、十二支

が「寅」なので、干支は「庚寅」となります。「庚」の字は更(あ

らたまる)で、草木の成長が行き詰まり、新たな形に変化しよう

とする状態を表しているそうです。その年のラッキー方位である

「恵方」は、十干に基づき決まり、平成22年の他「庚」の年の

恵方は庚(申)西の間方位で、西と西南西の間になります。恵方

は、その年の福徳を司る神・歳徳神が降臨し、立春から節分まで

の一年間、諸々のことに大吉とされる方位。節分の「恵方巻き

を食べる時、福の神がいる方角を向きませんが、平成22年はや

南寄りの西を向きましょう。「寅」は十二支の3番目。陰陽五行

で「木」性に当たります。「寅」の字は「動く」という意味で、

春が来て草木が発生する状態を表しているそうです。

ある占いで平成22年寅年のキーワードは「攻撃」と「約束

」で、基本スタンスは「前に出る」とのこと。「攻撃」とは「下を

向かず常に上を向き、自分を生かし切ることを考える年にしよ

う」という意味。その時、足元を見失わないようにする事が大事

だそうです。特に気にしておきたいのは周囲への気遣い。周りの

ことを考えて、親切・笑顔を忘れないようにしましょう。もう一

つのキーワード「約束」。「自分自身に対しての約束を果たす

」という事。自分の約束を果たす。それは「自分の夢を叶えるた

めの努力をする」ということで、自分への約束を守る為、最大限の

努力をする。これが寅年のキーワードとなるそうです。

占いは占いですが、周りを気遣い、上を向き、夢を叶える努力を

すること。常に心がけたい大切なキーワードですね。

寅年生まれの人・威風堂々とした態度が人の出ばなをくじくた

め、目上に対しては反感をかうケースがあります。大胆な反面、

小心さもあります。弱気を助け強気をくじく電光石火的な面も兼

ね備えていますので、人の上に立つことも出来るでしょう。



「明けましておめでとう」

「明けましておめでとう」という言葉は、新年の挨拶で使う賀詞のひとつ。「おめでとう」という言葉の中には、幕末に松下村塾を興した吉田松陰は「めでたい」は、本来「芽出たい」であって、新年は新しいいろいろなことが芽吹き出す一つの節目となるから「めでたい」なのだ、と解釈したと伝えられています。また、家族そろって新しい年を迎えることができたことに対して「おめでとう」を言うという話もあり、「おめでとう」とは、旧年一年を平穩に過ごすことができた感謝と、これからの一年間幸多かれという祈念を表す言葉であるという説もあります。挨拶を交わすことは人と人の繋がりを表します。新年の挨拶は1年の大切な事始めです。

修繕 リフォームから新築工事の建物の事
 優良土地活用から物件探索の土地の事
 北本建設株式会社
 埼玉県北本市古市場3-131 TEL: 048-591-1234
 URL: http://kitamoto.net/kitaken/ FAX: 048-591-0019

暮らしのカレンダー
 睦月、祝月、嘉月、震染月、端月、初月、建寅月、元月、泰月、太郎月、早歳月、年端月、年初月
 1日 元旦 9日 成人の日 20日 大寒
 2日 初夢／初売り 11日 鏡開き
 5日 小寒 15日 小正月
 7日 七草／人日 17日 冬土用／阪神淡路大震災記念日